

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(大分教育事務所)

No. 1

| 市町村名 | プラン・計画等 | 目標 | | |
|------|---------------|---|---|--|
| | | 目標 | 行動計画 | H28達成指標 |
| 由布市 | 学力向上アクションプラン | <p>【児童生徒の学力に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力調査における平均正答率の向上 ○学力調査における達成率の向上 ○家庭学習の十分な定着 ○学校間格差の減少 <p>【学校等が抱える組織的・構造的な目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の確立(1学期) ○授業改善の促進(2学期) ○補充学習の充実(3学期) ○家庭学習の充実(小中連携による組織的な取組) | <p>①授業改善に関する行動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて <ul style="list-style-type: none"> ○管理職による授業改善の推進 ○小学校における教科担任制の推進 イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む) <ul style="list-style-type: none"> ○習熟度別指導推進教員および指導法工夫改善教員配置校における習熟度別指導の実施 ○補充学習の充実 ○補充学習プリントの作成 ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて[日杵市学校図書館活用教育推進キャンペーン(10～11月)]の継続 <ul style="list-style-type: none"> ○全教科・領域で学校図書館を活用したバランスのとれた授業実践 ○学校図書館活用モデル校の研究選流 エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校) <ul style="list-style-type: none"> ○教科指導力向上協議会、市教振部会、中高一貫部会、校内研等の研究の運動化 ○学力向上支援教員と校内研の研究テーマのすりあわせ <p>②学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼保小の連携・小中連携を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学びに向かう学校づくり研究校の実践の波及 ○幼保小の連携・小中連携の充実 ○PTAとの連携による学びに向かう体制づくりの構築 <p>③保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後チャレンジ教室の充実 ○土曜教室の充実 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校外国語教科化に向けた小中連携の研究 ○中高一貫教育に関する取組 | <p>A 学習規律に関する達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①話を聞く態度の成立②ペア活動やグループ活動の成立 ③経営案にそった取組*それぞれ90%以上達成 <p>B 授業改善に関する達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①振り返る活動を計画的に取り入れた教員数②具体的な評価規準を設定している教員数③校内研の「授業改善テーマ」を意識した教員数*それぞれ90%以上達成 <p>C 補充学習及び家庭学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①家庭学習3学期実績②補充学習3学期実績③補充学習組織的な取組*それぞれ全校達成 <p>D 学力調査における平均正答率および達成率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国調査において正答率平均以上(特に活用力) ○県調査において達成率平均以上 ○小学校中規模校3校、中学校3校の学校間格差減少3ポイント以内 |
| | 体力向上アクションプラン | <p>ア. 児童・生徒の体力向上に係る目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎運動への意欲・興味の喚起と運動量の確保 ◎運動好きな児童・生徒の割合を増やす。 ◎運動をほとんどしない児童・生徒の割合を減らす。 ◎体力テストにおいて、全国平均以上である項目を増やす。 イ. 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための目標 ◎授業改善と効果的な研修の必要性 ◎管理職研修や体育主任会議をとおして体力向上に対する教員の意識を高める。 ◎体育専科教員を効果的に活用する。 ◎校内研修において、一校一実践を含む体力向上プランの実施に向け取組を進める。 | <p>ア. 児童・生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校における行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各市町村教育委員会での共通テーマや共通指標の設定(平成27年末冊子にて提示 説明:校長会一職員会議) ○優良事例の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ◎体育専科教員活用推進校によるモデルプランの提示や実践事例の公開 ○市町村教育委員会による学校毎の取組に対する指導・助言 ○体力向上計画の作成(第1回体育主任会を受けて体育主任が作成:モデル 体育専科教員配置校) <p>イ. 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校における行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長会で体力向上の取組の説明(年間3回) ◎管理職の下での、体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」の推進 ・様式に沿った体力向上プランの設定(学校ごと) ・プランの進捗状況の把握(第1回の体育主任会においてプラン作成の要請)(第2回の体育主任会においてプランの交流)(第3回の体育主任会においてプランの総括) ◎体育専科教員が教育相談活動、出前講習、出前授業を行う。 ・体育専科教員の活用方法の工夫(市内小学校本務校以外10校 各3時間程度 計約30時間) ・体力テストの実施の支援等 教育支援活動 水泳やボール運動の指導等 出前授業 体育主任会や市教振体育部会等での講習等 出前講習 ◎体育通信の作成(勤務校向け・市全体向け) ○中学校における体力向上会議の開催(年3回) ・3中学校の連携を図る。(教育課程体育部会の充実) ・中学校の取組の充実を図る。 | <p>◎運動好きな児童・生徒の割合を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校男子・中学校男子 90%以上 ・小学校女子・中学校女子 85%以上 <p>◎運動をほとんどしない児童・生徒の割合を減らす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校女子・中学校女子 20%以下 <p>◎体力テストにおいて、全国平均以上である項目を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生 D・E層を13%以下 |
| | 不登校対策アクションプラン | <p>目標</p> <p>(不登校生徒数・出現率)</p> <p><全中学校></p> <p>在籍数 839</p> <p>不登校数 13</p> <p>出現率 1.55%</p> <p><全小学校></p> <p>在籍数 1789</p> <p>不登校数 4</p> <p>出現率 0.22%</p> <p><拠点校での出現率></p> <p>狭間中学校 1.46%</p> | <p>取組及び地域不登校防止推進教員の活用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎取組 <ul style="list-style-type: none"> <計画・組織> ○各学校に自立支援担当を確立し、自立支援の学校組織体制作り ○自立支援担当による校内研修の活性化 ○不登校児童生徒の個別支援計画の作成 ○市内全校小中合同の不登校対策会議の開催 <未然防止> ○学活、道徳の充実による学級づくりの推進 ○教育相談による生徒の悩み解消に向けた取組 ○絆づくりのためのコミュニケーショントレーニングの実施 ○「QU調査」を基にした学級づくり、「ステップ勇気づけ」の取組 <初期対応> ○「あったかハート123」の徹底 「ポカポカハート1電3訪5面(由布市)」の徹底 ○「初期対応シート」提出の徹底、ケース会議の運営指導 ○SSW、教育支援センター、他機関との連携強化 <学校復帰支援> ○教育支援センター等での保護者相談の実施 ○SCや臨床心理士等とのカウンセリングや家庭訪問の実施 ○サポート教室を活用した校内支援体制の充実 ◎地域不登校防止推進教員の活用計画(拠点校) <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援のための学校体制作り、連携の見直し・役割分担の確認(学級担任、自立支援担当、サポート教室担当、地域不登校防止推進教員) ・学活、道徳の充実による学級づくりの推進 「QU調査」による学級づくり、「ステップ勇気づけ」の取組 ・絆づくりのためのコミュニケーショントレーニングの実施 ・自己決定の場、共感的人間関係を育む場、自己存在感を育む場を設定した学び合う授業の実施 ・小中連絡協議会の開催 ・小6と中学生との小中交流会の推進 ・「あったかハート123」「ポカポカハート1電3訪5面(由布市)」の徹底 ・「初期対応シート」提出の徹底、ケース会議の運営指導・SSW、教育支援センター、他機関との連携強化 ・カウンセリング、家庭訪問、保護者相談の実施 ・サポート教室を活用した校内支援体制の充実 (教育委員会) <ul style="list-style-type: none"> ・「初期対応シート」提出の徹底 ・個人データ、学校一覧表、初期対応シートの見直し ・小中合同の不登校対策会議の開催(学期に1回) ・QU調査による学級づくり、ステップ勇気づけの取組 ・小中合同の自立支援担当者研修会の開催 ・中学校就学に向けての小学校の訪問と相談の実施 ・学校訪問、指導主事招聘校内研究会等で生徒指導三機能を意識した「わかる授業」が展開できているかを確認し、指導・助言を行う。 ・小6と中学生との小中交流会の推進 ・「初期対応シート」提出の徹底 ・ケース会議の運営指導 ・SSW、教育支援センター、SC、他機関との連携強化 | |

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(大分教育事務所)

No. 2

| 市町村名 | プラン・計画等 | 行動計画 | |
|------|-----------|---|--|
| | | | H28達成指標 |
| 由布市 | 組織力向上計画 | <p>ア 学校評価の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4月に実施する「教育長ヒアリング」にて、指導の徹底。 ○教務主任会にて、各学校の4点セットの情報交換をしたり、実際に作成したりすることにより、教務主任として実働できるための知識の向上を図り、意識の向上を図る。 ○学期末に学校評価計画書を提出させ、PDCAの確認。 ○ホームページや通信を通じて公表。 <p>イ 学校運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年度当初の適切な運営組織づくりの確認と徹底。(学校要覧や経営案) ○学校規模に応じた学校運営体制の確立。 ○教務主任会で、学校運営への関わりの徹底。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度に4校を正式にコミュニティ・スクールに指定、3校に推進委員会(準備委員会)を立ち上げ、より「協働」を強化する。 ○全学校4点セットに「協働」を位置づける。 ○家庭、地域への積極的な発信、広報活動(PTA、ホームページ等)。 ○学力向上会議をより充実させる。(協働して「学力向上」を図る) ○先進地研修やフォーラム等を通じ、学習する。 ○学校評価に基づく改善策を協議する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標を「芯の通った学校組織の達成」とし、「8つの観点」の達成率100%を目指す。 ・学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率 小学校 100% 中学校 100% |
| | 主幹教諭の活用計画 | <p style="text-align: center;">活用内容</p> <p>【学校評価・運営に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○重点目標達成に向けて、全教職員のベクトル合わせ。 ○教職員の服務管理の徹底。 ○生徒や教職員の様子・状況の管理。 ○学校評価(4点セット)への関わりの徹底。 ○分掌会議、運営委員会の円滑な運営。 ○分掌間の調整による学校運営の機能化。 ○教職員への指導助言及び指示。特に若い教職員の指導力強化とベテラン教職員の指導技術の伝達に努める。 ○PDCAの確実な取組。 ○第3者評価の研究・取組。 ○PTA総会の運営とPとの連携。 ○本校の課題である「不登校、生徒指導」への関わりと適切なアドバイス。 <p>【コミュニティ・スクールに関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの積極的な取組による一層の充実。 ○「熟慮」の徹底と組織づくり。狭間中学校主幹教諭においては、自校の実践をもとにした指導・助言。 ○学校運営協議会、学力向上会議の効率的かつ充実した運用。 ○地域・保護者への積極的な広報活動。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主幹教諭と教育委員会の情報交換会の実施。 ○教務主任会での指導・助言。 | |